



Trimble Access

バージョン 2021.21

2022 年 2 月

このリリースのTrimble® Access™ソフトウェアには、次の変更点が含まれています:

新たなハードウェアのサポート

Trimble R750 GNSS受信機

Trimble Accessバージョン2021.21は、新型Trimble R750モジュラーGNSS受信機をサポートします。

R750モジュラーGNSS受信機は、RTK補正を放送する基準局としてや、移動局として遠隔操作が可能です。適応力とスケーラビリティを備えた本機ならば、今すぐ必要な機能を選ぶことが可能で、将来的に要件が変化した場合にも機能を追加する柔軟性があります。

最新の受信機に関する詳しい情報については、[Trimble Geospatial GNSS Systems ウェブページ](#)を参照してください。

機能強化

LandXM道路の機能強化

- 多数の線形を含んだファイルのマップ読み込み時間が、大幅に改善しました。
- これまで無効だった文字(- \$"/<>?)を含んだ名前の線形がサポートされるようになりました。旧バージョンのソフトウェアでは、これらの文字を一つでも含んだ線形はくひ打ちできませんでした。

座標系データベース更新

Trimble Accessとともにインストールされた座標系のデータベースには、次の機能強化が含まれています:

- フランスのジオイドモデルRAF20が追加されました。
- 新しいブラジルのジオイドhgeoHNOR2020が追加されました。
- イリノイ州に新しいICS83 LDPゾーンが追加されました。
- ドイツ・ザクセン州に測地系グリッドとゾーンが追加されました。
- Australian Vertical Working Surface(AVWS) のサポートが追加されました。
- 米国HTDP 3.4.0の最新バージョンのサポートが追加されました。
- インドに新しいキネマティック座標系・変位が追加されました。
- メキシコにキネマティック座標系・変位が追加されました。

解決された問題

- データ保存領域の問題: メモリ内に保持されたデータが3秒ごとにディスクに自動書き込みされていたのが、まれに一時停止されることがあった問題を解決しました。データはジョブの終了時点で保存されるため、この一時停止によってデータの損失が起こることはありませんでしたが、もし一時停止中にTrimble Accessソフトウェアに予期せぬシャットダウンが発生した場合には、データが損失する可能性がありました。このソフトウェアの問題の解決により、ディスクへの自動書き込みの予期せぬ一時停止の発生を防ぎます。

この問題はTrimble Accessバージョン2021.10で初めて報告されたため、バージョン2021.10以降をインストールされているすべてのお客さまは、バージョン2021.21をインストールすることができます。Trimbleでは、できる限り早期のアップグレードをお勧めします。

- シェープファイルのクラウドへのアップロード: シェープファイルをクラウドにアップロードする際に発生していた問題を解決しました。ジョブの.shp、.shx、および.dbxのファイルのみがアップロードされ、特徴コードのシェープファイルはアップロードされませんでした。解決後は、ジョブの.shp、.shx、および.dbxのファイルと、ジョブに使用された特徴コードもすべてアップロードされるようになりました。
- ヌル値のインポート: ASCIIファイルをインポートする際、ヌル値が誤って?値ではなく0値として表示される問題が解決されました。
- ポイントマネージャ内の写真属性: ポイントマネージャを使用し写真属性が追加された特徴コード付きポイントをレビューする際、写真属性フィールドに写真ファイル名の代わりに?が表示される問題が解決されました。
- Scanning with an S Series instrument using a TSC5 or TDC600 controller: We have fixed an issue when scanning with a Trimble S Series トータルステーション using a TSC5 or TDC600 controller, where the scan points would appear in the correct position when viewed on the controller, but the .tsffile containing the scan points would not import correctly into Trimble Business Center. This issue was introduced in Trimble Access 2021.20
- Radio connection to total station on Android: Connecting to a total station using a radio is now more reliable on Android controllers.
- SX10/SX12 求心カメラの問題 (Android): Android コントローラを使用する際、Trimble SX10 または SX12 スキャニング トータルステーション 求心カメラのライブ動画 フィードで色が正しく表示されない問題が解決しました。求心カメラを使用してキャプチャされたスナップショットには問題は発生していませんでした。
- SX10/SX12 Wi-Fi 接続の問題 (Android): コントローラの使用時、Wi-Fi を使用して Trimble SX10 または SX12 スキャニング トータルステーション に接続している場合、機器に初めて接続する際、デバイス上で接続して Trimble Access で使用するメッセージをタップするだけで操作を行えるようになりました。このメッセージは接続するたびに毎回、表示されません。
- GNSS RTK NTRIP マウントポイントの選択: NTRIP キャスターが初期設定座標位置 (0,0) を使用する場合、距離フィールドに値が表示されなくなりました。Trimble Access バージョン 2021.20 から、ソフトウェアが 0,0 座標までの距離を計算するため、距離フィールドに極めて大きい値が表示される問題が発生していました。

- サードパーティNTRIPキャスターの接続問題: ベーシック認証を行うサードパーティ製NTRIPキャスターに接続する際、キャスターからの予期せぬ応答または応答がないことから、接続を確立していますの進捗バーが20%で停止する問題が解決しました。
- Chinese subscription use: To comply with Chinese data regulations concerning the upload of Chinese geospatial data to servers outside of China, Trimble Access now allows sign in with Trimble Identity for use of subscriptions, but prevents use of the Trimble Connect cloud platform if your IP address is determined to be in China.
- アプリケーションエラー: ソフトウェアを使用したり閉じたりする際にアプリケーションエラーを時折発生させる幾つかの問題を修正しました。とりわけ:
 - 光学測量機を使用してぐい打ちする際。
 - Androidコントローラ上でTrimble Accessを実行する際、Trimble SX10またはSX12スキャニングトータルステーションを使用してスキャンの開始前にパノラマをキャプチャした後。
 - デュアルプリズムオフセット測定を地形測定フォーム内で実行する際に、別のタスクに切り替えると、別の目標高を入力することができる。
 - 受信機ファイルのインポートを開始する際。
 - 既に現場キャリブレーションを含んだjxlファイルからジョブをインポートした後、もう一度現場キャリブレーションを適用しようとした際。
 - マップ内にPlanFeaturesレコードを少なくとも一つ含んだLandXMLファイルを読み込んだ際。
 - Trimble Accessソフトウェアを再起動した直後のEM120無線機の設定時。

道路

新しい特長

機能強化

LandXM道路の機能強化

- 道路が水平線形のみ、または水平線形と鉛直線形のみから成る場合にメニューを使用してその道路をぐい打ちする際、最初にRXL道路として保存しなくても道路を使用できるようになりました。旧バージョンでは、これらの道路は、RXL道路に変換しなければ使用できない横断面道路として扱われていました。
- メニューを使用して道路をぐい打ちする際、名前の一致で線形を絞り込むフィールドを使用し、名前で線形リストを絞り込めるようになりました。これは、線形を名前で選択したい場合で、ファイル内に多数の線形が含まれているときに、大変有用です。
- 多数の線形を含んだファイルのマップ読み込み時間が、大幅に改善しました。

- これまで無効だった文字(-\$*/<>?)を含んだ名前の線形がサポートされるようになりました。旧バージョンのソフトウェアでは、これらの文字を一つでも含んだ線形はくい打ちできませんでした。

解決された問題

- LandXML開始・終了測点: LandXML線形の開始・終了測点がマップ内に表示されないため、くい打ち対象としてマップ内で選択できないことがある問題が解決しました。
- アプリケーションエラー: ソフトウェアを使用したり閉じたりする際にアプリケーションエラーを時折発生させる幾つかの問題を修正しました。とりわけ:
 - 道路にテンプレートが割り当てられていない場合に、追加ポイントをくい打ちしようとした際。

サポートされている機器

Trimble Accessソフトウェアのバージョン2021.21は、下記のソフトウェアおよびハードウェア製品との通信に最適です。

注意 - 最高のパフォーマンスを維持するため、ハードウェアには常に使用可能な最新のファームウェアをインストールしてください。

最近のソフトウェアおよびファームウェアバージョンに関する詳しい情報は、[Trimble地球空間ソフトウェアおよびファームウェアの最新リリース文書](#)をご参照ください。

サポートされているコントローラ

Windows端末

Trimble Accessソフトウェアは、以下のWindows®デバイスで実行可能です:

- TrimbleTSC7コントローラ
- TrimbleT7、T10またはT100タブレット
- 対応サードパーティー製タブレット

対応サードパーティー製タブレットに関する詳しい情報は、[Trimble Access Downloads page](#)にアクセスし、サポート公示 - Trimble Accessをクリックし、Trimble Access 2021 on 64-bit Windows 10公示をダウンロードします。

Android端末

Trimble Accessソフトウェアは、以下のAndroid™端末上で実行されます:

- TrimbleTSC5コントローラ
- TrimbleTDC600ハンドヘルド
- TrimbleTCU5コントローラ

少数ですが、Android端末でTrimble Accessを使用する際にサポートされていない機能があります。詳しくは、[Trimble Accessヘルプ](#)内のAndroidデバイスに関するヒントの項をご参照ください。

サポート対象の一般機器

Trimble Accessを実行中のコントローラに接続可能な従来型機器は以下の通りです:

- Trimble スキャニング トータルステーション: SX12、SX10
- TrimbleVX™ スペーシャルステーション
- TrimbleS Series トータルステーション: S9、S7、S5 とS8、S6、S3
- Trimble機械式 トータルステーション: C5、C3、M3、R4、M1
- TrimbleSPS Series トータルステーション
- Spectra® Geospatial トータルステーション: FOCUS® 50/35/30
- サポート対象のサードパーティ製 トータルステーション

Trimble Accessソフトウェア内で使用可能な機能は、接続された機器の型式およびファームウェアバージョンによって異なります。Trimbleでは、本バージョンのTrimble Accessを使用されるに当たって、入手可能な最新のファームウェアに機器をアップデートすることをお勧めします。

注意 - TCU5 コントローラまたはTDC600 モデル1 ハンドヘルドを使用している場合、SX10 またはSX12 への接続はサポートされていません。

サポート対象のGNSS受信機

Trimble Accessを実行中のコントローラに接続可能なGNSS受信機は、以下の通りです:

- Trimble統合GNSS測量システム: R12i, R12, R10, R8s, R8, R6, R4, R2
- TrimbleモジュラーGNSS測量システム: R750, R9s, NetR9 Geospatial, R7, R5
- TrimbleSPSシリーズGNSSスマートアンテナ: SPS986、SPS985、SPS985L、SPS785、SPS585
- TrimbleSPSシリーズGNSSモジュラー受信機; SPS85x
- TrimbleAlloy GNSS基準局受信機
- Spectra Geospatial内蔵GNSS受信機: SP85, SP80, SP60
- Spectra GeospatialモジュラーGNSS受信機: SP90m
- FAZA2 GNSS受信機
- S-Max GEO 受信機

注意 - Spectra Geospatial受信機は、他のサポート対象受信機とは異なるGNSSファームウェアを使用することから、Spectra Geospatial使用の際は、Trimble Accessソフトウェア内の全ての機能が使用できるわけではありません。詳細については、[Spectra Geospatial receiver support in Trimble Access](#) ヘルプを参照してください。

インストール情報

ライセンス要件

Trimble Access 2021.21のインストールは、コントローラに対して供与された永久ライセンスを使用して行なうか、または個々のユーザーに割り当てられた受信契約ライセンスとして行なうことができます。一般測量アプリに対してのほか、使用する各Trimble Accessアプリに対しても、ライセンスが必要です。

永久ライセンス

永久ライセンスが供与されたサポート対象コントローラにTrimble Access 2021.21をインストールするには、コントローラ上にXまで有効な16月2021年Trimble Access Software Maintenance Agreementが必要です。

ヒント-旧式コントローラから新しいコントローラにアップグレードするには、適切なTrimble Installation Managerを使用し、旧式コントローラから有効なSoftware Maintenance AgreementのあるTrimble Accessソフトウェアライセンスを削除することができます。ディストリビュータがライセンスを新しいコントローラに再割り当てしたら、Trimble Accessを使用してTrimble Installation Managerを新しいコントローラにインストールすることができます。

サブスクリプション

永久ライセンスではなくTrimble Accessサブスクリプションを使用している場合は、サポートされている任意のコントローラにTrimble Access 2021.21をインストールできます。

ソフトウェアのサブスクリプションを使用するには：

1. ユーザーの組織内のライセンス管理者が、[Trimble License Manager webapp](#)を使用してユーザーにサブスクリプションを割り当てる必要があります。
2. Trimble Accessソフトウェアを初めて起動する際、Trimble IDを使用してサインインし、Trimble Access受信契約ライセンスをコントローラにダウンロードする必要があります。それ以外の場合は、サインアウト済みの場合にのみ、サインインするように求めるプロンプトが表示されます。

サインアウトするまで、受信契約はそのコントローラにロックされます。サインアウトしたら、別のコントローラでTrimble Accessを実行してサインインし、そのコントローラにサブスクリプションをロックし、ソフトウェアを使用します。

アカウントをお持ちでない場合ソフトウェアをお試しいただけます

Trimble Installation Managerを使用して制限付きデモ版ライセンスを作成し、Windows 10がインストールされたコンピュータ、または対応Android Trimbleコントローラに、Trimble Access 2021.21をインストールすることができます。

デモライセンスは1件のジョブあたり30点の追加に限定されていますが、他の場所で作成されたそれよりも大きなジョブは開いたりレビューしたりすることが可能です。デモライセンスでは最初の30日間、GNSS受信機やトータルステーションへの接続が可能です。30日後には、マニュアル機器(WindowsおよびAndroid)を使用してトータルステーション測量とGNSS測量(Windowsのみ)をエミュレートできます。

注意 - Trimble Accessライセンスが既に登録されたデバイス上に、Trimble Accessのデモ版ライセンスを作成することはできません。

さらに詳しい情報は、To try out softwareのトピックをTrimble Installation Managerヘルプからお使いのコントローラオペレーティングシステムの箇所をご参照ください。

Trimble Installation Managerを使用してのインストールおよびアップグレード

ソフトウェアをコントローラにインストールするには、コントローラのオペレーティングシステムに応じて正しいTrimble Installation Managerを使用します。

- Trimble Installation Manager Windows用 
- Trimble Installation Manager Android用 

Windowsコントローラにソフトウェアをインストール

Trimble Installation Manager Windows用  をダウンロードし、インストールするには、コントローラをインターネットに接続してからwww.trimble.com/installationmanagerを開き、TIM for Windowsタブを選択します。

コントローラ上でTrimble Installation Managerを実行するには、Windowsタスクバーで検索アイコンをタップし、インストールと入力します。検索結果内のTrimble Installation Manager  をタップし、Trimble Installation Managerを開きます。ソフトウェアを実行する際、最新の変更およびソフトウェアリリースに自動的に更新されます。

Trimble Accessバージョン2017.xx以降で最後に使用されたジョブは、Trimble Accessで開くと自動的に最新バージョンのソフトウェアに変換されます。古いジョブを変換するためのツールはいくつかあります。詳しくは、Trimble Access: Converting jobs to a newer versionドキュメントをforms.trimble.com/globalTRLTAB.asp?nav=Collection-62098からご参照ください。

Trimble Installation Manager Windows用は、必要に応じてインストールまたはアンインストールすることができます。Trimble Accessソフトウェアには影響しません。

詳しくは、[Trimble Installation Manager Windows用ヘルプ](#)をご参照ください。

Androidコントローラにソフトウェアをインストール

Trimble Installation Manager Android用は多くの場合、Trimble Androidデバイスにあらかじめインストールされています。

Trimble Installation Manager Android用  をダウンロードし、インストールするには、コントローラをインターネットに接続してwww.trimble.com/installationmanagerを開き、TIM for Androidタブを選択します。

コントローラでTrimble Installation Managerを実行するには、Androidのアプリ画面を開き、Trimble Installation Manager Android用  アイコンをタップします。ソフトウェアを実行する際、最新の変更およびソフトウェアリリースに自動的に更新されます。

注意 - Trimble Installation Manager Android用は必ずコントローラにインストールしたままにしてください。Trimble Accessソフトウェアを実行するために必要です。

Trimble Accessバージョン2019.xxで最後に使用されたジョブは、Trimble Accessで開いたときに、自動的に最新バージョンのソフトウェアに変換されます。古いジョブを変換するためのツールはいくつかあります。詳しくは、Trimble Access: Converting jobs to a newer versionドキュメントをforms.trimble.com/globalTRLTAB.asp?nav=Collection-62098からご参照ください。

詳しくは、[Trimble Installation Manager Android用ヘルプ](#)をご参照ください。

オフィスソフトウェアの更新

Trimble Accessバージョン2021.21のジョブをインポートできるように、オフィスのソフトウェアを更新する必要がある場合があります。

Trimble Business Centerの必要な全ての更新は、Trimble Business Centerに付属の更新の確認ユーティリティを使用して処理されます。

ヒント- Trimble Link™など、その他のファイル形式にジョブファイルを変換するためのその他のオフィスソフトウェアをお使いの場合は、Trimble LinkがインストールされているコンピュータにTrimble Installation Managerをインストールし、Trimble Installation Managerを実行してオフィス更新をインストールします。

ソリューション改善プログラム

Trimble Solution Improvement Programは、Trimbleプログラムの利用方法についてや、発生する可能性のある問題の幾つかについての情報を収集します。Trimbleは、この情報をもとに、最も頻繁に使用される製品や機能の向上に役立て、問題解決のお手伝いをし、お客様のニーズにお応えします。

プログラムへの参加は、任意で強制ではありません。Solution Improvement Programへの参加・不参加はいつでも変更できます。変更するには、Trimble Accessの☰をタップし情報を選択します。法律情報をタップし、ソリューション改善プログラムを選択します。ソリューション改善プログラムに参加するチェックボックスを選択・解除します。

Trimble Access アプリ

Trimble Accessソフトウェアスイートは、測量士や地理空間の専門家向けに、フィールドワークを容易にする一連の専門フィールドアプリケーションです。使い方が簡単なインターフェース、最適化されたワークフロー、リアルタイムデータ同期により、Trimble Accessソフトウェアは、日々の作業の成果をさらに高めることを可能にします。実際の作業に最適なアプリケーションを選択することで、競争力の向上を図りましょう。

Windows端末でサポートされているTrimble Access アプリ

以下のTrimbleアプリは、対応Windowsデバイスで本バージョンのTrimble Accessを実行する際にサポートされています。

アプリ	Contact
道路	Trimble
トンネル	Trimble
採掘鉞	Trimble
Land Seismic	Trimble
パイプライン	Trimble
Power Line	Trimble
Katastermodul Deutschland	Trimble
モニター	Trimble
AutoResection	Allnav Ag
BathySurvey	Geometius

一部のアプリと追加のアプリは、旧バージョンのTrimble Accessでサポートされています。詳細については、[Trimble Accessアプリの使用可能性](#)のウェブページを参照してください。

Android端末でサポートされているTrimble Accessアプリ

以下のTrimbleアプリは、対応Androidデバイスで本バージョンのTrimble Accessを実行する際にサポートされています。より多くのアプリに対応できるよう取り組んでいます。

Trimble Access Apps	Contact
道路	Trimble
トンネル	Trimble
採掘鉞	Trimble
パイプライン	Trimble
Power Line	Trimble
Katastermodul Deutschland	Trimble
モニター	Trimble
AutoResection	Allnav Ag
ALLNAV Rounds	ALLNAV

一部のアプリは、旧バージョンのTrimble Accessでサポートされています。詳細については、[Trimble Accessアプリの使用可能性](#)のウェブページを参照してください。

法的情報

© 2022, Trimble Inc. All rights reserved. Trimble, the Globe and Triangle logo, Spectra, and Trimble RTX are trademarks of Trimble Inc. registered in the United States and in other countries. Access, VISION, and VX are trademarks of Trimble Inc.

For a complete list of legal notices relating to this product, go to <https://help.trimblegeospatial.com/TrimbleAccess/> and click the Legal information link at the bottom of the page.